

主な出来事

【内政】

- 政府与党PDG内における分裂
- シマ首相による政府与党PDG離党

【外政】

- ボンゴ大統領によるチャド訪問
- MINUSCA代表によるガボン訪問
- EUによるECCAS支援：3.5億ユーロ
- オナ・オンド首相によるコンゴ（共）訪問

【経済】

- 新鉱山法成立
- 丸紅のメタノール生産契約
- CEMAC域内経済成長鈍化：2.8%
- 国家公務員の給与にかかる新制度

【内政】

1 ボンゴ大統領による衛星センター視察

6月30日、アリ・ボンゴ大統領は、ンコク経済特区の衛星センターを視察した。同施設は、衛星画像を利用して、自然資源の持続的な活用及び海洋監視体制の確立に寄与する。（1日付UN）

2 通常国会の閉会

6月30日、上院議会及び国民議会にて、通常国会の閉会が宣言された。（1日付UN）

3 政府与党PDG内における分裂

6月27日、PDG議員数名は、リーブルビル商工会議所にて集会を行い、PDG脱退を表明した。これに対し、1日、アリ・ボンゴ大統領は、与党内の結束を保つため所属議員を召集し、PDGの派閥解体及び党内意思決定機関として専門委員会の新規設立を決定した。（4日付UN）

4 シマ首相による政府与党PDG離党

2日、シマ前首相は正式にPDG離党を表明した。シマ前首相の離党に伴い欠員が出たWoleu-Ntem県では、補欠選挙が実施される予定。（4日付UN）

【外政】

1 ボンゴ大統領によるチャド訪問

4日、アリ・ボンゴ大統領はンジャメナを訪問し、イドリス・デビーイトゥノ・チャド大統領と会談した。両者は、6月半ばにンジャメナで発生したテロ攻撃を受けて、中央アフリカ地域の安全及び地域統合並びに二国間関係の強化に向け一致団結することで合意した。（6日付UN）

## **2 MINUSCA代表によるガボン訪問**

13日、ババカール・ゲイMINUSCA代表がリーブルビルを訪問し、アリ・ボンゴ大統領と中央アフリカの政治・軍事状況につき総括を行った。（14日付GR）

## **3 EUによるECCAS支援：3.5億ユーロ**

EUは、第11回欧州開発基金（FED）プログラムにて、中央アフリカの地域統合プロセス援助の一環で、2014-2020年にかけて、中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS/CEEAC）加盟国10カ国に対して3.5億ユーロの支援を行う旨発表した。このうち、2.11億ユーロが地域経済統合に、1.35億ユーロがインフラに、4300万ユーロが平和安全保障分野に、800万ユーロが技術協力等に使用される予定。（4日付UN）

## **4 オナ・オンド首相によるコンゴ（共）訪問**

21日、第4回アフリカ・フォーブス・フォーラムがコンゴ（共）で開催され、情報通信技術（ICT）を基盤産業に据えるガボンから、オナ・オンド首相が出席した。（27日付UN）

## **5 WHOとの協力発展に向けた対話**

1-2日、WHO及びガボン保健・社会保障省は、リーブルビルにて、2008年-2015年までの協力戦略について評価を行い、来年以降のガボンにおけるWHOの取組について議論を行った。（2日付UN）

### **【経済】**

#### **1 新鉱山法成立**

投資の透明性確保及び投資家の免除・保護を規定した新鉱山法が成立した。同法は、オペレーターに対し、更なる租税優遇措置を認めるほか、紛争仲裁制度やオペレーターの社会・環境責任についても言及している。また、同法は、プロジェクトごとに国家が10%の配当権を有する旨明記している。（7日付GR）

#### **2 石油セクター・ローカル・フォーラムの開催**

7-8日、ガボン石油・炭化水素省は、ガボン石油関連会社とともに、石油セクター・ローカル・フォーラムを開催した。同フォーラムにて、新たな投資の呼び込みのほか、経済の多様化、国家及び地方公共団体の事業参加促進、給与条件改善を通じた国民の生活水準向上等が議論された。（8日付UN, 8日付GR）

#### **3 丸紅のメタノール生産契約**

6日、丸紅は、ガボン石油・炭化水素省との間でメタノール生産工場建設に係る署名を締

結した。今後、同社はメタノール生産事業に係るFSを行う予定。(10日付GR)

#### 4 CEMAC域内経済成長鈍化：2.8%

中部アフリカ銀行(BEAC)は、国際油価低迷及び中部アフリカの情勢不安を受け、2015年域内経済成長率予測値を、当初予測していた4.2%から2.8%に低下させた。(10日付GR)

#### 5 仏コミログ社(マンガン生産)：2015年第1四半期決算発表

仏コミログ社は、2015年第1四半期の決算を公表し、売上げが2,150億CFAフランになる旨発表した。仏エラメット・グループは、2015年第1四半期の鋼鉄総生産及び中国の鋼鉄生産は、前年に比べ、それぞれ1.8%及び1.7%減少した旨発表した。仏エラメット・グループのマンガン対外輸出は、前年に比べ、19%減少した。(21日付UN)

#### 6 国家公務員の給与にかかる新制度

25日、国家公務員の給与評価及び退職年金にかかる新制度が実施された。マニャニャ予算・会計大臣の発表によれば、7月分の国家公務員給与総計は、400億CFAフランから520億CFAフランに上昇した。(27日付UN)

#### 7 トータル・ガボン社：2015年第1四半期決算発表

トータル・ガボン社は、2015年第1四半期決算を発表し、前年第1四半期(1,17億ドル)に比べ、2700万ドル減少した旨発表した。また、同社は41%の売上高損失及び1,5億ドルの石油投資減を発表した。(25,27日付GR)

#### 8 Bekar Hughes社によるストライキ

全国石油従業員労働組合(ONEP)は、Bekar Hughes社の元従業員によるストライキ予告を発表した。同社は、2月、経済的理由から24名の従業員を解雇している。(8日付GR)

#### 9 森林開発会社によるストライキ

ルジエ・ガボン社の従業員は、給与条件が改善されない限り、ストライキに突入すると発表した。(8日付GR)

#### 10 オマール・ボンゴ大学教員及び研究者によるストライキ

20日、オマール・ボンゴ大学の教員及び研究者は、研究員に対する手当及び給与支払いを求めて、ストライキを開始した。(21日付UN)

出典：PR(大統領府公式HP)、UN(ユニオン紙)、GM(ガボン・マタン紙)、GN(ガボン・ニュース電子版ニュース)、AFP、GA(Gabonactu.com)、GR(ガボン・レヴュー電子版ニュース)、LG(ル・ガボン電子版ニュース)、GE(ガボン・エコ電子版ニュース)